



同窓会を盛り上げる新たな本巢会

揖斐郡本巢会が発足

平成29年1月21日（土）

岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会は、本部のほかに、関東支部と名古屋支部の2支部から組織されています。その他にも、かつての関西支部である関西圏同窓会や、昨年10月に発足した岐阜県警本巢会など、地域や職能に関する同窓会組織を抱えています。

今回は、平成29年1月21日（土）に、揖斐郡本巢会が発足し、第1回目となる懇親会が立花屋（揖斐郡揖斐川町谷汲徳積）において、午後6時より開催されました。揖斐郡は現在、揖斐川町、大野町、池田町の3町から構成されており、母校在校生ならびに卒業生の地元として高い割合を占めている地域です。

当日は、昭和40年卒から平成16年卒までの29名が参加し、同窓会事務局からは西尾侑一（平成16年卒、常任理事）が出席させていただきました。川瀬善忠同窓会長（昭和40年卒）による司会のもと、はじめに富田和弘氏（昭和40年卒、揖斐川町長）にご挨拶をいただきました。続いて出席者が順番に簡単な自己紹介をし、参加者最高齢者の杉山一郎氏（昭和40年卒）に乾杯の発声があり、歓談へと移りました。

約3時間の宴の後、山本幸浩常任理事（平成元年卒、山本工務店取締役）の先導によって万歳三唱が行われ、盛会のうちにお開きとなりました。

宴会中は、普段同じ職場で働く方々が「きみも本巢だったのか！」と、まさかのつながりを発見されている様子も多々見られるなど、大変盛り上がっていました。

なお、この会におきまして、揖斐郡本巢会の会長に富田和弘氏が、事務局長に古野利仁常任理事（昭和53年卒）が選任されました。

また、「日本一小さな酒蔵」として有名な杉原酒造（株）様（揖斐郡大野町下磯）よりお酒を頂戴しました。同酒造は、同窓生の杉原庄司氏（昭和40年卒）と慶樹氏（平成6年卒）が営んでいます。ありがとうございました。

創立100周年に向けて、職能同窓会や地域同窓会の活動が活性化してきました。今回は谷汲地区の方の参加が多かったですが、今後はさらに広範囲の方々のご参加で盛り上がりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。



▲本高の思い出話と近況を話しながら飲食する参加者



▲富田和弘会長（昭和40年卒、揖斐川町長）の挨拶